

ろうきんのあゆみ

		全国ろうきん	中央ろうきん
1950年	昭和25年	岡山と兵庫に労働金庫設立	
1951年	昭和26年	(社)全国労働金庫協会設立	千葉県労働金庫、埼玉労働金庫設立
1952年	昭和27年		神奈川県労働金庫、東京労働金庫、群馬県労働金庫、栃木県労働金庫設立
1953年	昭和28年	労働金庫法公布・施行	茨城県労働金庫設立
1954年	昭和29年		山梨県労働金庫設立
1955年	昭和30年	労働金庫連合会設立	
1964年	昭和39年	新潟地震災害にともなう特別融資	
1966年	昭和41年	沖縄県労働金庫設立(47番目の金庫)	
1971年	昭和46年		労金事務センター(首都圏4金庫)業務開始(江東区亀戸)
1972年	昭和47年	財形貯蓄「虹の預金」取扱い開始	
1976年	昭和51年		首都圏労金新事務センター発足(中央区黎明)
1978年	昭和53年		変動金利制住宅ローン取扱い開始(東京労金) 首都圏(4金庫)総合オンライン稼働
1981年	昭和56年	労働金庫法改正 (内国為替、年金、員外預金、員外貸付等の扱い) 新型期日指定定期預金「ワイド」取扱い開始	
1982年	昭和57年	財形年金取扱い開始	
1983年	昭和58年	労働金庫中央事務センター(港区港南)開所	
1984年	昭和59年	全国労金為替オンラインシステム始動	
1985年	昭和60年	全国労金間のCDネット(ROCS)の完成	
1987年	昭和62年	両替業務取扱い認可	
1989年	平成元年	労働金庫総合事務センター設立	
1990年	平成2年	全国労金統一オンラインシステム稼働 都銀・地銀とのオンライン業務提携(MICS)開始	
1991年	平成3年	ROCS・MICSのサンデーバンキング実施	
1994年	平成6年	国債直接窓販業務取扱い開始	
1995年	平成7年	阪神淡路震災遺児支援定期「応援(エール)30」取扱い	友愛信用組合の事業譲受(神奈川労金)
1996年	平成8年	全国労金の総預金量10兆円達成	
1998年	平成10年	近畿労働金庫の誕生(10月・近畿7労金合併)	
1999年	平成11年	郵便貯金とのCD・ATMオンライン業務提携	
2000年	平成12年	東海労働金庫の誕生(10月・東海3労金合併) デビットカードサービス取扱い開始	
2001年	平成13年	四国労働金庫の誕生(4月・四国4労金合併) 北陸労働金庫の誕生(10月・北陸3労金合併) 九州労働金庫の誕生(10月・九州7労金合併)	中央労働金庫の誕生(4月・関東8労金合併)
2002年	平成14年	ろうきん相談所開設	インターネットバンキング・モバイルバンキングの取扱い開始
2003年	平成15年	東北労働金庫の誕生(10月・東北6労金合併) 中国労働金庫の誕生(10月・中国4労金合併)	
2004年	平成16年	アイワイバンク銀行(現セブン銀行)とのATM利用提携	中期経営計画スタート
2005年	平成17年	個人向け国債取扱い開始 投信定時定額買付サービス取扱い開始 保険窓販取扱い開始	フラット35取扱い開始
2007年	平成19年	新潟・静岡労金、全国統一オンラインシステムに移行	中期経営計画スタート
2008年	平成20年	就職安定資金融資制度取扱い開始 イオン銀行とのATM利用提携	業務集中センター竣工
2009年	平成21年	全労済の共済窓販取扱い(共済代理)開始	新本店ビル竣工
2010年	平成22年		総預金残高5兆円突破
2011年	平成23年	東日本大震災・災害救援ローン等の取扱い開始	中央ろうきん設立10周年記念式典 個人年金保険(定額)窓販取扱い開始
2012年	平成24年		中期経営計画スタート
2013年	平成25年		個人年金保険(積立型)窓販取扱い開始
2014年	平成26年	新オンラインシステム「R・ONE」稼働 「ろうきんビジョン～人々が支え合う共生社会の実現のために～」策定	
2015年	平成27年	夫婦連生団体信用生命保険取扱い開始	中期経営計画スタート
2016年	平成28年	イーネット・LANs・ビューカードとのATM利用提携	
2017年	平成29年		総預金残高6兆円突破
2018年	平成30年		中期経営計画スタート 本店ビル(新館)竣工
2019年	令和元年	ろうきんアプリ公開	新助成制度「中央ろうきん助成制度「カナエルチカラ」」スタート
2020年	令和2年		融資手続きペーパーレスシステム「R-NEXT」サービス開始